



小塩の桜

小塩部落の高台、通称「うえんで」に植えられている。土地の人は「うえんでの桜」と呼び親しんできた。

この桜は、村でも一番早く咲き、近くには薬師堂、観音堂、そして墓地がある。季節には花見の宴が催される。

桜の木は、同部落の河原田永吉萬延元年（一八六〇年）〜明治三十年（一八九七年）が山桜を取って来て、植えたと伝えられている。

所在地 伊南村大字小

塩字丸山地内

（御蔵入三十三観音第二十三番札所如意輪観音堂境内）